

“ピュア再生”を徹底追求した 一体型プリメインアンプが登場

Profile：ノルウェーを代表するブランド、エレクトロコンパニエより新機軸となる製品が登場した。本誌でも高い評価を得ているプリメインアンプ「ECI 6 MKII」にストリーマー/DAC機能を追加したモデルである。同ジャンルは競合も多いが、何といても最大の魅力はエレクトロコンパニエの音質を再現できる一体型システムであることである。同ブランドの製品を高く評価する井上千岳氏がレポートする。

Text by
井上千岳
Chitake Inoue

Photo by 田代法生

高鮮度で汚れなき質感
◆実在感◆がまるで違う

エレクトロコンパニエの代表的なプリメインアンプであるECI 6 MKIIに、ストリーマー/DACを加えたニューモデルである。無帰還A級ディスタクリートの入力段とハイパワーな出力段はそのままだに、インターネットやネットワークからのストリーミング再生やダイレクトUSB入力、さらにUSBメモリーからの直接入力も可能としている。操作は専用アプリをダウンロードすれば簡単にできる。

出力は8Ωで125W×2、2Ωでは370W×2を保証する。初めにCDで基本的なところを聴いてみたい。もともとECI 6 MKIIは歪みが低くノイズも極小で鮮度の高い音調だが、動きは速くダイナミズムも明確だ。本機でもそのベースは変わることがなく、透明度の高い濁りや汚れない響きと質感が際立っている。

古楽器アンサンブルでも無理な強調感はないが、弦楽器が古楽器らしい張りや瑞々しさに富んで再現が洗練としている。輪郭線がふやけて曖昧になることがなく、すっきりと芯の締まった音がナチュラルな生命力を感じさせる。ピアノもタッチがくっきりして骨格が強く、腰がしっかりと落ち

た土台の確かさを感じる。そのうえで一音一音の表情がきめ細かく変化し、決してがんと叩き鳴らすような乱暴な出方はしない。繊細緻密なニュアンスのデリカシーが、明快な質感で描かれる。

マドリガルはいよいよ本領発揮という感触で、一人一人の声の位置感がすぐそこにあるようにリアルに聴こえてくる。音場の奥行と広さ高さが大変正確に把握されて、その3次元空間の中に声のアンサンブルが散りばめられているのが見えるのだ。

オーケストラもホルルの感触そのままという雰囲気は満ち、弦楽器も木管楽器やホルンもあるべき場所に収まってそこから音が出ていく。こういう音場の解像力がベイスにあるため、大音量になったときの実在感がまるで違うのだ。生きたアンサンブルが鮮やかな色彩感で語りかけてくるようである。

**ストリーミング再生も同様
隅々まで鮮明な音質を実現**

ストリーミング再生でも本質的に音調に変化はない。時にネットワークで感じるナロー感やスピードの遅さもここでは全く問題がなく、汚れないダイレクトな感度の音調が引き出されている。ピアノではすっきりと澄んだタッチと色彩豊かな和音の響きが瑞々し

い。また室内楽は弦楽器の音色がことのほか鮮明で艶やかだ。ハーモニの重なりが張りのある響きで立ち上がる様子が、生き生きとして非常に爽快に鳴っている。

オーケストラは濁りや贅肉を排して、フォルテが颯爽と鳴り渡る。空間の遠近や残響の乗り方など、実体感に富んだ音場の出方がライブのリアリティを彷彿とさせるのである。楽器の色調が豊かなのも音楽を明るくしている。そして瞬発力の高さが、ダイナミックな起伏の原動力となっていっそう表現を大きなものにするのである。

メモリーからのダイレクト再生も可能で、音質はこれが最も有利だ。鮮度が一回り高く、どの音も隅々まで鮮明。音調そのものは変わらないが、この鮮度の違いが大きいのである。



ELECTROCOMPANIET ECI 6 DX MK II

ストリーマー/DAC搭載プリメインアンプ

Specifications

●ストリーミングサービス等:Qubuz、Spotify Connect、TIDAL Connect、Bluetooth、Airplay、Roon Ready、DLNA(レンダラー)、インターネットラジオ●定格出力:125W(8Ω)、200W(4Ω)、370W(2Ω)●消費電力(負荷或いは信号なし):110W(スタンバイ1W)●サイズ:470W×430D×128Hmm●質量:20.5kg●取り扱い:シーエスフィールド(株)



デジタル入力はUSB(最大192kHz/24bit)、SPDIF×2(最大192kHz/24bit)、TOS×2(最大96kHz/24bit)の他、ストリーマー用途としてLAN×1、USB-A×1を装備。アナログ入力はXLR×1とRCA×3を、その他プリアウト出力をRCAとXLR各1系統ずつ配置